

平成21・22年度 文部科学省指定「道德教育実践研究事業」推進校
平成21・22年度 京丹後市教育委員会研究指定校

道德研究主題

**「心を揺さぶり、心を鍛え、
主体性・意欲を育てる道德教育の充実を図る」**



平成22年11月4日（木）



京丹後市立弥栄中学校

〒627-0111 京都府京丹後市弥栄町溝谷3301番地の1

TEL : 0772-65-2554

FAX : 0772-65-4037

E-mail : yasaka-jhs@kyoto-be.ne.jp

URL <http://www1.kyoto-be.ne.jp/yasaka-jhs/>

研究の概要

◎ 研究主題

「心を揺さぶり、心を鍛え、
主体性・意欲を育てる道德教育の充実を図る」

○ 重点事項

「自分と向き合い、自分の考えを言葉で表現すること、
他の考えを受け止めることを通して、自己のあり方や生き方を考える。」

◎ 主題設定の理由

本校の学校教育目標「主体的に学び、心豊かで、たくましく生き抜く生徒の育成」を具現化するためにこの研究主題を設定した。全教育活動を道德性の育成という視点で見つめ直し、充実・発展させることで、「自分と向き合い、自分の考えを言葉で表現すること、他の考えを受け止めることを通して、自己のあり方や生き方を考える。」生徒を育成したい。また、道德教育の要となる道德の時間の改善と充実を図ることで、生徒の内面的な成長を促し、よりよい生き方を実践していこうとする判断力・実践力を高めていきたい。

◎ 研究のねらい

- (1) 学校の教育課題を踏まえた道德教育の内容の重点化
- (2) 全教育活動における道德的な視点を明確にした取組の推進
- (3) 道德教育の計画的推進と道德の時間の指導の創意工夫
- (4) 全教育活動の中で、「自分の考えを自分の言葉で表現できる生徒」の育成

◎ 研究推進体制



研究推進の全体計画

学校教育目標

主体的に学び、心豊かで、たくましく生き抜く生徒の育成

目指す生徒像

- (や) やる気をもってやりきる生徒
- (さ) さべつを許さない思いやりのある生徒
- (か) からだを鍛えるたくましい生徒
- (中) 中学生として自ら課題を解決する生徒

道徳教育の目標

学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う
こころのひびき合う体験活動等を通して豊かな人間性を育む

研究主題

心を揺さぶり、心を鍛え、主体性・意欲を育てる道徳教育の充実を図る

自己のあり方、生き方を考える

自分と向き合い
自分の考えを言葉で表現する

他の考えを受け止める

【全教科】

《確かな学力》

- ◇授業改善
「学習意欲と表現力を高める
授業の創造」
 - ・思考力、表現力の向上
 - ・教え合い活動
- ◇基礎・基本の定着
 - ・全校学習等
- ◇授業規律
 - ・時間を守る
 - ・しっかりと聞く

道徳の時間

補充・深化・統合

【総合的な学習の時間】

◇豊かな体験活動から、自分を振りかえらせ、将来の展望や生き方につなげる

【特別活動】

◇集団活動から、自主的・実践的な態度、人間としての生き方について自覚を深め自己を伸ばす

【生徒会活動】

◇生活を見つめさせ、よりよい生活を送る態度を養う

【学校行事】

◇自分・他人の良さの発見、思いを伝える

【学年・学級】

- 《信頼関係づくり》
 - ◇物事をしっかりと受け止め、感じ、考え、行動できる心の育成
 - ◇自由に何でも言える雰囲気づくり
 - ◇基本的生活習慣の確立

【部活動】

- ◇コミュニケーションづくり
- ◇ミーティングの重視

生徒の実態・願い

道徳教育推進委員会

◎ 学校教育全体を通して行う道徳教育

- (1) 道徳教育推進教師を中心とした協力体制の整備
- (2) 全体計画・年間指導計画の作成
- (3) 生徒の発達の段階に応じた指導内容の重点化
- (4) 教科・領域の取組との関連を明確にした道徳教育推進プランの作成

本校の道徳教育推進教師の主な役割

- ◎ 道徳の時間の指導案作成に係わる指導助言
- ◎ 道徳の時間の指導者として
 - ・指導者として示範授業を行なう(T1、T2として)
 - ・学年道徳等におけるコーディネータ役、グループの助言者
- ◎ 地域人材の活用における連絡調整

◎ 校内研修の推進

- (1) 校内研修のねらい
 - ① 道徳教育についての教師の意識を高め、指導力の向上を図る
 - ② 生徒のよりよい生き方の実現につながる道徳の時間の改善と充実を図る
 - ③ 学校の道徳教育に関する教育課題の解決を図る
- (2) 校内研修の進め方
 - ① 道徳教育推進教師が中心となって進める
 - 本校の道徳教育推進に係わっての研修
 - 各研究大会、センター研修での伝達講習
 - ② 指導者を招いて研修を進める(今年度)
 - 「話したくなる」道徳の時間を目標として～言語活動の充実～
 - 教材研究のポイント、指導案の作成の仕方
- (3) 講演会の実施



小グループによる研究討議



長期研修修了者による研修



関西学院大学大学院 横山利弘 教授

◎ 道徳の時間の授業公開

- (1) 学校・家庭・地域社会が連携した道徳教育の推進
 - ① 学校、家庭、地域社会が連携しあって豊かな心をはぐくむ
 - 地域の教育力、人材を生かした取組を進める
 - ② より一層の開かれた学校づくりを推進する
 - 保護者への授業公開
 - 学校便りの中の道徳コーナーの掲載
 - ③ 外部評価(参観者アンケート等)を教育活動に生かす
 - 教育活動の改善・充実につなげる
 - 校内環境整備に生かす
- (2) 道徳教育、道徳の時間の改善、教師の指導力の向上
 - ① 地域の学校へ積極的な授業公開を行う



京都市総合教育センター 鈴木克治指導主事



市内小中学校等への公開授業

授業研究部

◎「心を揺さぶり、心に響く」授業の創造

道徳の時間

資料の筆者や資料中の主人公の生き方をもとに、道徳的価値に基づいた人間としての生き方を共に考え、共に語り合い、共に深めていく時間

授 業 研 究

○ 指導案作成

- ① ねらいの検討 … 年間指導計画をもとに主題名とねらいを確認する
- ② 資料の吟味 … ねらいを達成するのにふさわしい教材を選択・開発する
- ③ 資料の分析 … 場面分けをして、中心場面を考える
ねらいに迫る中心発問と予想される生徒の反応を考える
中心場面以外の発問を考える

○ 学年会で事前に検討

- ① 主題設定の観点 … ねらいとする道徳的価値が示されているか
生徒の実態、発達段階にふさわしい資料であるか
- ② 指導過程の確認 … 導入・展開・終末の段階をおさえた指導過程であるか
生徒の学習状況が分かるような指導過程であるか
中心発問、予想される生徒の反応等が示されているか

○ 学年内で先行授業

- ① 授業の評価 … 生徒の実態把握はできていたか
生徒が深く考えられ、ねらいが達成できる中心発問だったか
ねらいを達成するための工夫はあったか
- ② 指導案の見直し … 自分の学級の実態にあっているか

○ 全教員参加による研究授業

- ① 参観の視点 … 全教員の参観の視点（ねらい）を明確にする
参観シートを活用する

○ 研究協議

- ① 研究会のあり方 … 全職員または小グループによる研究協議を行う
校内研修ハンドブックを活用する
- ② 指導講評・助言 … 京都府教育委員会・京都府丹後教育局・京丹後市教育委員会の
指導主事を招いた授業研究会を行う



指導主事を招いての研究授業



指導主事を招いての出前授業

授 業 実 践

- 全教員が指導案を作成する工夫
- さまざまな授業展開の工夫



ネームプレートの活用「ドナーカード」 (3年)



意志表示カードの活用「氷河上の決断」 (1年学年道徳)



視聴覚資料の活用「償い」 (3年)



ロールプレイ「銀色のシャープペンシル」 (1年)



読み物資料を使って「元さんと二通の手紙」 (3年)

○魅力的な教材の開発

- ・「心のノート」の活用
- ・「京の子ども 明日へのとびら」の活用
- ・視聴覚資料、新聞記事、インターネットからの資料等の活用

○授業の評価

- ・授業者の観察による評価
- ・ワークシートの感想による評価
- ・ワークシートの自己評価欄による評価
- ・道徳の授業に対するアンケートによる評価



心のノートの活用 (2年グループ討議)

調査研究部

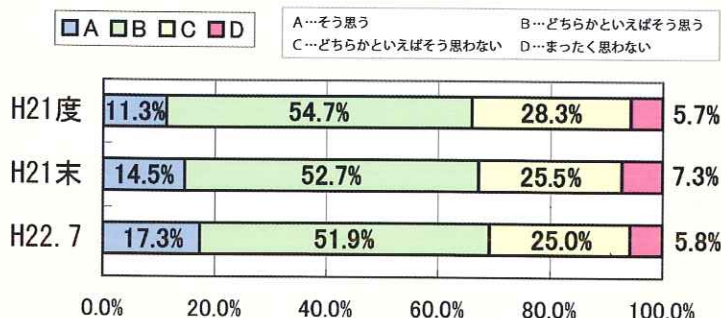
◎生徒の実態把握

○生徒・保護者アンケート

◎地域への発信

- 学校公開と啓発活動
 - ・ 道德の時間の授業公開
 - ・ 学校行事の地域への公開
 - ・ 学校便り等

「道德の時間」の勉強はためになると思う



環境整備部

◎校内環境整備

《心を豊かにする環境づくり》

- 「道德コーナー」の設置
 - ・ 各学年・学級の道德の時間のようすの交流
 - ・ 学級通信の掲示
- 校内掲示物
 - ・ 「心のノート」「心に響くことば」等の掲示
 - ・ 生徒の作品展示
- 花壇づくり
 - ・ PTA参加での環境づくり



道德コーナー



PTA花づくり

● 成果と課題 ●

1 成果

- (1) 校長の基本的な方針のもと、道德教育推進教師の役割を明確にし、道德教育推進体制を確立できた。
- (2) 生徒に生きる力をつけることを目標に、全教職員が研究推進組織に所属し、全ての教育活動の中で道德教育の取組を推進することで、学校の教育活動全体の活性化につながった。
- (3) 校内研究会を重ねることで、「道德の時間」への教員の意識が高まるとともに、資料分析等、教師の指導力向上につながった。
- (4) 道德の時間について、「道德の時間がためになる」、「他の意見を聞きながら、自分のことを考えることができる」という生徒が増えた。
- (5) 課題に対する自覚や責任感等、内面的な成長が見られるようになった。

2 課題

- (1) あらゆる場面で、生徒一人一人の道德性の育成につながる取組を進める。
- (2) 道德の時間が、道德的価値にもとづいた人間としてのあり方・生き方を追求するものになるよう、さらなる研究を推進する。
- (3) 家庭・地域と連携を深め、新学習指導要領の趣旨にそった研究をさらに進める。

豊かな体験活動



2年職場体験「FMたんご」



社会人講話《郷土愛》



日々の活動



朝読書



全校学習「教え合い学習」



給食集会「生産者を招いて」

心の文化発表会



意見発表会

ボランティア活動



京丹後市ボランティア



「清掃活動」



弥栄町「納涼祭で演奏」